

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ウキウキさくらんぼ				公表日	2025年 4月 23日	
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・4階のフリースペース、1階のエントランスなど広々と使うことが出来ている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・子ども個人の特性に合わせて適宜環境構成を行っています。	・今後、車いすの利用に関しては、室内用を用意する必要があると出てくる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		勉強、遊びと明確に場所を区切っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・面談スペースやフリースペースが設けられている。 ・4階フリースペース、1階エントランスに加え、2階面談室や7階女子更衣室など通常過ごすスペース以外の部屋を使用することが出来る。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・全員参加し、それぞれの意見を出し合う場を設けている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・集計後に回覧し、即改善できる部分については適宜行っている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・朝礼で子どもの気になる様子や意見を出せる場面設定をしています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			・行政書士事務所のコンサルティングを受け、常に公正な業務の遂行に努めています。 ・相談支援員の方や保護者の方に施設内の様子を随時ご見学いただいています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			・POSからの研修などがあるとより良い支援に繋がるのではないかと思います。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・全体会議を通し、スタッフの意見を出し合い作成し公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・その日出動している放デイスタッフ全員でアセスメントを行うため、子どもを多角的に見ることが出来ているのではないかと感じている。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・その日出動している放デイスタッフ全員で検討を重ねている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・全体会議を通し、スタッフの意見を出し合い作成し公表している。 ・子ども全員の支援計画書を1冊のファイルにまとめて、見やすくしている。(子どもたちの個別ファイルとは別)			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		・共通したものを使用し確認している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・子どもたちの参加意欲を掻き立て、日々飽きがこないよう、内容に変化を持たせ常に違ったものに取り組むようにしている。 ・活動を行うスタッフを交代しながら活動内容が固定化されないよう考慮して行っています。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>					
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・環境構成と人員配置を情報共有を行い適宜役割に沿った動きがとることができています。 ・チーム内で振り返りと反省を行い次回への改善策を考えています。	・業務については、役割分担しながら行っていますが、それぞれの業務が見えづらいと感じることがあります。それぞれのタスクを視覚化するなどがあると、より効率的に役割分担を行うことが出来るのではないかと思います。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			・振り返りは行っていますが、日々の子どもの様子が記載できていないことがあると感じています。ハグ（支援ソフト）を活用して、子どもたちの日々の様子を追えるようにすると、継続的な支援が行いやすいのではないかと感じます。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			・日々の全員の子ども記録は記載することができていないこともあるので、ハグ（支援ソフト）などを活用して、子どもたちの日々の様子を追えるようにすると、継続的な支援が行いやすいのではないかと感じます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・新しい事へのチャレンジ、変化を支援の中に組み込み、様々な経験を通して子どもたちの感性を豊かにできるようにしている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・医療の分野においては、医療的ケア児が在籍していない為、連携がとれていません。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			・全ての学校に対して行っていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			・在籍していた子どもから障害福祉サービス事業所へ移行した者がおらずまだ行った経験がありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・まだそういった研修は受けられていません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・地域交流の場に行く機会がなく行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・天王寺区の子ども部会に月に1回参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・児童発達の専門医をお招きして保護者会を開いています。日常の困り感を軽減できるよう支援しています。	
41		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
44		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・保護者が周囲に自身のお子様の発達についてカミングアウトをしていないケースもある為、そういった観点から行うのを控えています。
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			